

## コロナがもたらした良いこと

アミール・ツアルファティ

-コロナウィルスがもたらした良いことは…-

<https://youtu.be/NzfVdyMQk3s>

皆さん、シャローム。アミール・ツアルファティです。スペシャル中東アップデートです。今回は、中東情勢についてあまり話しません。今回は、コロナウィルスの大流行から出て来た、いくつかの良いことについてです。でも、その前にお伝えしたいのは、インターネットのデータ通信量が、前代未聞の大混雑を起こしています。原因の多くは、家にいる人が多いという事実で、私たちは、ここ数週間で、登録者数が1000万人以上に達しました。そして、それには良いことと悪いことがもたらされます。良いことは、もちろん、私たちが多くの人にすばらしい励ましを与えることができたことで、私たちは応援メールを頂いています。しかし他にもそれに伴って、いくつかのことがあります。興味深いことに、地球上のイスラム・アラブ諸国のすべての国から、今、われわれを見ている人たちがいます。これは驚異的なことです！これも知っておいてほしいのですが、今は皆がインターネットを見ていて、皆が家に閉じこもって、自己隔離されているので、皆さんに、できる限り多くのものをご提供できるよう、私たちミニストリーは、オンラインストアの教材を、すべて40%オフにしています。あらゆるコストをこちらで負担して、皆さんがすべての教材を入手できるようにしたいと考えています。今は皆さん、時間がありますから。その時間は、おそらく最高の資産であり、皆さんに今与えられている最高の教材です。だから、私たちはできる限り多く、皆さんの手に渡るようにしたいと思っています。

まずは、この25分の間に入ってきた、非常に良いニュースから始めます。テルアビブ近郊のネスシオナにあるイスラエル生物学研究所からです。コロナウィルスの抗体を、どうにか作ることができました。抗体とは、体がウィルスと戦う術を生み出す時、抗体を作り出すのです。抗体を血液から抽出するのは難しいのですが、回復した患者から、いくつかの標本やプラズマ（血漿）を採取することができ、研究室の空気の中で、実際に抗体を作ることができました。ということは、ここから先は回復のための治療法が、ぐっと短くなります。これは本当に良いニュースです。コロナウィルスの治療薬が、イスラエルからやって来ることを本当に祈り、期待しています。現場には、たくさんのチームがいて、そのすべてに対処しています。これは、とてもとても良いニュースです。

さて、興味深いことを、お伝えしたいと思います。昨日（2020.4.4）は、何の日だったかということ、大安息日と呼ばれる日でした。大安息日、シャバット・ハガドールは、その名の通り、中世時代、過越祭の前の安息日を指していました。中世の時代には、大安息日は偉大で重要な安息日として知られていたのが始まりですから、とても面白いですね。しかし、それは偉大な週とも見なされていました。面白いことに、ユダヤ人にとって大安息日、あるいは過越祭の前の大週間と言えば、彼らの考えの中に、受難週はありません。しかし、面白いと思いませんか？イエスがエルサレム入りし、エルサレムに凱旋入場した棕櫚の主日を、世の中が祝っているのです。もちろん、そこから受難週が始まりました。それが偉大な週として知られ、人間の宗教によって決められているのです。しかし興味深いことに、イスラエルのすべてのシナゴークで、彼らはトーラー、モーセの律法の一部を読んでいたのです。この場面はレビ記からですが、預言書からの類似する箇所があったのです。私たちは、それをハフターラーと呼んでいますが、何かというと、ユダヤ人が故国を離れていた間、律法を読むことは許されていませんでした。なぜなら、律法は、当時エルサレムの神殿の広場で公に読まれなければならなかったからです。そこで、彼らは預言書の類似箇所を読んでいたのです。それが、とても興味深いのです。現在、大安息日と大週間が近づいていて、聖句は、エレミヤ書9章23節から24節です。この二つの節を画面に映し出して、一緒に読みたいと思います。エレミヤ書9章23節から24節を、お読みします。

一主はこう言われる一知恵ある者は自分の知恵を誇るな。力ある者は自分の力を誇るな。富ある者は自分の富を誇るな。誇る者は、ただ、これを誇れ。悟りを得て、わたしを知っていることを。わたしは主であり、地に恵みと公正と正義を行う者であるからだ。まことに、わたしはこれらのことを喜ぶ。一主のことば

(エレミヤ9章23節から24節)

これは美しいです。なぜなら、よく考えてみてください。ここで私たちが見ているのは…、繰り返しますが、このアップデートで今日話したいことの多くが、この中に要約されているのです。これ、見てください。今日、パンデミックが198カ国以上を攻撃しています。それは、金持ちも貧しい人も攻撃していて、ユダヤ人、イスラム教徒、キリスト教徒を攻撃しています。老いも若きも攻撃しています。世界で最も裕福な都市と、世界で最も貧しい村を攻撃しています。それは、すべてを攻撃しているのです。地球上の、すべての大陸を。誰かの知恵や、誰かの力や、誰かのお金は見ておらず、ご覧の通りです。そして面白いことに、あきらかに人生には、知恵も力もお金も、何も全く役に立たない時があります。そして驚くのは、この聖句を見ていると、見ての通り、神が、特に現代の私たちに言っておられるのです。

「知恵ある者は自分の知恵を誇るな。力ある者は自分の力を誇るな。富ある者は自分の富を誇るな。誇る者は、ただこれを誇れ。悟りを得て、わたしを知っていることを。わたしは主であり、地に恵みと公正と正義を行う者であるからだ。まことに、わたしはこれらのことを喜ぶ。一主のことば」

神は基本的に、全世界に言っておられます。「あなたがたのお金や知恵や力や軍隊に頼るのをやめなさい」と。「わたしは空母全体を止めることが出来るのだ。たった1つの小さな小さなウィルスが、実際に3000人の水兵の空母を止めることが出来る。大学や学校も、ウィルスによって止めることが出来る。ウィルスによって、株式市場も止めることができる」つまり、人々が信頼していたものが、今では、なんの役にも立たないのです。これは、とても興味深いことです。ということで、世界中がコロナウィルスに苦しんでいるだけでなく、受難週の始まりに、シナゴグで読まれている預言書の聖句は、私たち全員の目を、あらためて主ご自身に注目させるものです。他のすべてのものから目を離して、主ご自身に焦点を合わせるように。これは、素晴らしいことだと思います。

これから、イスラエルと世界中で起きている、素晴らしい出来事をいくつか挙げてみましょう。それらはすべて、コロナウィルスの結果です。まず第一に、少なくともイスラエルでは、それからアメリカ、ヨーロッパ、その他の地域でも、地域の間で、素晴らしい仲間意識と連帯感があります。普通に日常生活を送っていた時には、異なる肌の色や民族、宗教、社会経済的背景など、様々なコミュニティの間で生活様式に大きな違いがありましたが、しかし、非常に興味深いことに、そういった違いがなくなってきました。例を挙げてみましょう。テルアビブの近くに、ブネイ・ブラクという町があります。ブネイ・ブラクは、人口20万人の町で、そのほとんどが超正統派ユダヤ人です。ここは非常に小さなユダヤ人コミュニティで、彼らはテレビを見ず、ラジオも聞きません。彼らは私たちのようなスマホを持たず、この人たちは世俗的なライフスタイルを軽蔑しています。彼らはイスラエル軍に所属しておらず、とても閉鎖的なコミュニティです。そして、彼らは自分たちの仲間に投票して議会に送ります。彼らには自分たちの学校があり、独自のカリキュラムを作成しています。そして、通常の状態では、制服を着た兵士が通りを歩くのを見たら、彼らはとても不快に思い、悪態をつくこともあるのです。それが、なんと彼らは、現在起こっていることに触れていなかったのが、コロナウィルスの状況の深刻さを理解していなくて、少なくとも数週間前、イスラエルがすでにウィルスに備え始め、人々を自己隔離し始めた時、このコミュニティは、引き続き、結婚式やパーティーを行い、シナゴグに行って、大ぜいで祈りをささげていました。大きな理由は、何かが起こっていることを彼らが確信していなかったからです。知らなかったのです。とてもシンプルです。今は、軍が町の指揮権を握っていて、病人を隔離し、他の人と接触してうつさないようにし、家庭に食糧支援を動員したりしています。今日、私たちが目にしたのは、そこは非常に閉鎖的な社会で、彼らはヘブライ語を話さず、イディッシュ語で話すのですが、制服を着た兵士が、小さな辞書を持って各家庭のドアをノックして回り、イディッシュ語で人々に話しかけているのです。兵士たちは、彼らに食べ物を持って行きます。すると、人々の反応を見てください。彼らは兵士たちを抱きしめ、兵士のためにパンやケーキやお菓子を焼いています。イスラエルが誕生して以来、初めてのことです。その社会が軍隊を軽蔑したり、攻撃したり、非難したりするのではなく、軍隊の世話になることを喜び、感謝しているのです。これは、すごいことです！また、イスラエルでは今、多くの若者たちの活動が見られます。彼らはボランティア活動をしていて、高齢者に食べ物を運んだり、人々を助けています。たとえばイスラエルの農家は、すべての農産物を出荷することができません。そこで、すべての農産物を屋外のある場所に持って行き、人々にテキストメッセージを送ったり、フェイ

スブックに投稿して、畑から直送の新鮮な農産物を買に行きように呼びかけているのです。そうして、農家の人たちを助けたのです。そんなことは見たことがありません。私は今47歳になりましたが、イスラエルが経験した戦争や軍事作戦の中でも、このようなことは初めてです。このような仲間意識は見たことがありません。すごいことです。ところで、世界中の他の多くの場所でそれを見えています。

もうひとつ、お知らせしたいのは、私が信者になって聖書を読み始めた時に、本当に衝撃を受けた章の1つが、イザヤ書1章です。イザヤ書1章で、預言者イザヤが、主から聞いた祭りに関することを知って、私はショックを受けました。今日は過越祭の3日前ですが、これは最も重要な祝日です。ヘブライ歴の始まりの祝日、過越祭です。興味深いことに、過越祭の2日前になると、私は思い出します…。今年の過越祭は、非常に違ったものになります。家族は2~3人、3~4人でお祝いします。通常は一軒につき、40人か50人で食卓を囲みます。通常、これは最も家族で集まる時間です。それが今回は、今までの過越祭とは違った過越祭を見ることになります。しかしお伝えしたいのは、私が衝撃を受けたことのひとつ、イザヤ書1章13節、14節、15節を読んだ時です。主はイザヤに言われます。

**もう、むなしいささげ物を携えて来るな。香の煙、それはわたしの忌み嫌うもの。新月の祭りと安息日、会合の召集—わたしは、不義と、きよめの集いに耐えられない。(イザヤ1章13節)**

それから主は言われます。

**あなたがたの新月の祭りや例祭を、(過越はそのひとつ)わたしの心は憎む。それはわたしの重荷となり、それを担うのに疲れ果てた。あなたがたが手を伸べ広げて祈っても、わたしはあなたがたから目をそらす。どんなに祈りを多くしても聞くことはない。あなたがたの手は血まみれだ。(イザヤ1章14節から15節)**

それを読み、私はショックを受けたのを覚えています。「主よ。あなたがそれらの祝日を規定されたのに、全部祝いなさい、と言ったのはあなたです。それなのに今、あなたの心がそれらの祝祭に耐えられず、あなたの心は憎んでいるとおっしゃるのですか？」そして、主は私をこの聖句に導かれました。「あなたの祝日や安息日はわたしのものではない」と。そこで私は気づいたのです。私たちは神の例祭や祭りを人為的なものに変えてしまった。狂気に変えてしまい、買い物に夢中になり、狂ったように掃除をし、狂ったように消費する、狂った豊かさ。そして、このテーブルに着く頃には、とても疲れています。テーブルを囲んでいても、何をしているのかも分からない。過越の日もそうですし、クリスマスもそうです。イースターにも当てはまります。私たちの身の回りにある、多くの祝日に当てはまります。私たちは、ただそれらの祝日を自動的に祝い、そして私たちは狂ったようにあらゆる事をします。それが今年、他のどの過越祭とも違う過越祭です。狂ったように買い物をすることはありません。それは、できませんから。自分の家や持っているものを見せびらかすために人を集めるような狂気の沙汰は、もはやありません。この過越祭には、来客はいません。この過越祭は、あなたと神がすべてです。今年素晴らしい過越祭になるでしょう。

皆さんも、神が世界中で動いておられるのが、はっきりと分かると思います。それが次にお話しすることです。皆さん、私はある動画を目にして、それが本当かどうか確認しましたが、リオデジャネイロの貧しい貧民街やスラム街、ムンバイの最も貧しいスラム街、パキスタンの屋上で教会の礼拝が行われていて、看護師や医師たちが膝をかかめて祈っているのです。病院やショッピングモールの駐車場で礼拝が行われています。メキシコやブラジル、インド、パキスタン、そして、世界中で神が動いておられるのです。パンデミックがなければ起こらなかったことが今、起きているのです。人は無力で、自分の知識も力もお金も、ここでは何の役にも立たないことを理解しています。政治家は、ここでは何の役にも立ちません。面白いことに、1986年に、皆さんもご存じのデビッド・ウィルカーソンが、興味深いことを書いていたのです。ちょっと探してみましょう。とにかく、彼は1986年に「パンデミックが来る」と、非常に驚くべきことを書いています。疫病が発生する、と。そして、それによって大きな動きが起こり、多くの人が神のみもとに立ち返るだろう、と。そこで、はっきりと言っておきます。人には二つの選択肢があります。自ら神に服従して、神を崇拜し、神に栄光と名誉を帰し、神に身をゆだねるか、あるいは、神がすべてだとは信じない、と言うか。選択肢は、とてもシンプルです。ある意味、中間地点がなくなりつつあります。揺さぶられるものは、ほとんどすべて揺さぶられているようです。そして、神のものは今、とても堅く立っています。

それから、皆さんがこれを理解しておくことは、超重要です。神が動いておられます。主は至る所で動いておられて、たとえばヨーロッパのようなところでは、ヨーロッパのような多くの場所では、実際に人々がEU(欧州連合)の夢や幻想から目を覚ましているのを目の当たりにしています。イタリア人は、自分たちが大打撃を受けた時、ヨーロッパが助けてくれる、ヨーロッパ銀行が助けてくれると本気で思っていました。言わせていただきますが、欧州の銀行は、スペインやイタリアを助けるよりも、ずっと早くイランを助けました。言わせていただきますが、ネット上ではEUの国旗を燃やしているイタリア人の波がYouTubeやFacebookで見られます。彼らは言っています。

「我々は、あなたがたの一員だったが、あきらかに、我々が必要としている時、あなたがたはそこにいない。だから、実際、もう我々は、あなたがたの一員でいたくない」

現在、25カ国以上の国が参加しているEUは、この時点で崩壊しています。どの国も、今は自分たちの国民の面倒を見ています。国境は閉鎖され、各国は…、見てください。ヨーロッパだけでなく、グローバリズムの波全体が大きな打撃を受けています。つい先ほど、オーストラリアの首相が発表するのを聞きました。「オーストラリアを訪れている人は、自分の国に帰りなさい。オーストラリア政府は、オーストラリア国民を助けることに専念します」非常に純粹でシンプルなことです。つまり、「私たちはオーストラリア国民を代表する主権政府であり、オーストラリア国民の面倒を見るために選挙で選ばれたのです。オーストラリア国民ではない人は、出国し、自分の国に帰ってください」このような危機が訪れると、こうなります。突然、世界は一つの大きな大陸ではなくなります。突然、理解できるようになります。

「ウィルスに国境はない。ウィルスを拡散させないために、国境を閉鎖しなければならない」

見てください。トランプ大統領はコロナウィルスの件でたいしたことをしていないと批判されましたが、しかし、皆さんにお伝えしたいことがあります。1月20日に、米国でコロナウィルスの最初の症例が発見されました。1月29日、大統領は、それと戦うために、すでに対策本部を準備し、1月31日には非常事態宣言をして、中国からの入国をすべて封鎖しました。当時、民主党は、それをしたことで大統領を攻撃しました。ところで、それはネタニヤフにも同じことが言えます。1月に、彼はすでに何が起こるかを予測して、アジアからイスラエルへの入国を阻止し、その後、イタリアから、次に、その他からの入国を阻止しました。初めの頃、リベラルで、狂った、進歩的な左翼たちは言いました。「ああ、ネタニヤフはコロナウィルスを利用して、パニックを起こしたいのだ。選挙結果から注意をそらすために」見てください。驚愕です。保守的な指導者たちと戦っている政治家たちが、何も理解しておらず、何も気にしていないことが証明されているのです。確実に、彼らは自分の国のことなど、なんとも思いません。しかし、それだけでは不十分ならば、このコロナウィルスから出て来たもうひとつの良いことをお伝えしたいと思います。左派リベラルメディアが破綻しています。皆さん、まず第一に、文字通り破綻しています。人々が、ある種の出版物やメディアを消費しなくなっていますから。リベラルなメディアは、実際よりも事態を悪く見せて指導者を中傷し、攻撃しようとするのですが、それは危機的状況下にある国家のDNAに反します。危機の時には、国はより愛国的になり、より団結し、より指導者を支えるものです。きちんと国を導いている指導者であれば、確実です。そして言うのは、メディアが非常に果敢な指導者を攻撃している時、メディアは実際には、自身の信頼性を失っているのです。私たちは、それをイスラエルだけでなく、世界中の他の国々でも見えています。アメリカでも、それが見られます。私は、毎日、トランプ大統領の記者会見を見っていますが、もう、驚愕します。彼が、この3年間で言ってきたことのすべてが、今、ウィルスからアメリカを守るために役立っているのです。もし、彼のやることなすこと、すべて阻止する民主党がいなければ。そして驚くのが、民主党やリベラルが彼を攻撃しているのは…、ちなみに彼は正しいことをしているのですよ？興味深いことにメディアの破綻は、私たちが世界中で見ている、もうひとつのことです。

言っておきますが、非常に悪質な国、悪の枢軸が、まもなくイスラエルを攻撃してきます。イラン、トルコ、ロシアは今、過去最悪の状態にあります。イランは、コロナウィルスに悩まされているだけではありません。ちなみに、イランの死亡者数は、彼らの報告をはるかに上回り、1万人を超えています。しかし、それとは別にトルコも、もちろん犠牲者数を隠蔽していますが、毎日、数百人単位で増加しています。ロシアでは…、今はロシアの死亡者数について、話もしません。原油価格です。原油価格がどんどん下がって、20ドル以下です。ロシアやサウジアラビア、アメリカが、石油生産の減速を発表して、しばらくの間、人為的に価格を上げなければ、10ドルになるかもしれません。皆さん、ロシア経済は、このような原油価格の安さでは、数ヶ月以上は持ちません。それで次の話に移ります。私は今、中国とロシアの非常に興味深い協力関係を、注意深く見えています。彼らがどれほどアメリカが苦しむのを願っているか、これには驚きます。しかし、彼らはただ、この状況下でトランプが予想以上に機能していることに、ショックを受けています。興味深いことに、対策本部の責任者の何人かは、どうやらこのパンデミックが始まったことに驚

いていなかったようです。実際、数年前には、何人かはパンデミックが起きると予測していました。それはまるで、今、世界で起きていることの一部は氷山の一角で、中国と他の国の間で、アメリカを崩壊させるための、実によく練られた計画ではないかと疑ってしまうほどです。しかし、そう簡単には起こらないと思います。アメリカは人々が思っているよりも、ずっと強いからです。しかし、私に言えるのは、アメリカを含む全世界は、この後、すっかり変わってしまうでしょう。それは間違いありません。トルコもイランもロシアも、弱いアメリカを利用して、近い将来イスラエルに敵対して、イスラエルを攻撃できるような雰囲気を作ろうとしています。

私は…、いいですか？繰り返しますが、これは古い聖書の預言です。これは私の妄想ではありません。預言者エゼキエルが、これらのことが起こると預言したのです。ご存じのように、イスラエルは史上最高の状態で、このCOVID-19のパンデミックに突入しました。我々の失業率は過去最低で、我々の通貨は史上最強でした。大きく投資し、素晴らしい信用率がありました。だからイスラエルは、おそらく…、もちろん、元の状態に戻るには時間がかかるでしょうが、失業率は、わずか1ヶ月前には3.5%だったのが、今は約30%近くになっています。しかし、これだけ多くの企業が閉鎖されているのだから、それはすべて予想されることです。しかし、ひとつ確かなことがあります。世界中で、もっと多くのことが起こっていて、そのことから、信者としての教会が携挙される時が、非常に近づいていることが分かります。

私が気づいたことの一つは…、ところで、念のために言っておきますが、シリアやイラクで起きている出来事については、これでなく、この後、通常の中東アップデートを行います。あちらでも多くのことが起きています。しかし私がお伝えしたいことは、数日前、パチカンで、非常に非常に奇妙なことが起きました。パチカンは毎年、ある年鑑を発表していますが、それは年報のようなもので、その中に、パチカンで何かしらの地位に就いている人たちが、全員載っています。その年報は、毎年発行されています。さて、2019年のフランシスコ教皇は、そのページの一番上の彼らの名前は、VicarioDiJesusCristo、「キリストの司祭」でした。とても興味深いことに、彼の名前はずっと下の方であって、彼の肩書きは、すべて「地上のキリストの代表」でした。今年は、パチカンの年鑑の歴史の中で初めて、非常に奇妙なことが起こりました。今年発表された中で、「キリストの司祭」は、実際ずっと下の方に、小さく載っているのです。実際、彼の名前は、ホセ・マリオ・ベルゴリオです。見えるでしょうか。キリストの司祭が現れるのは…、見えるかどうか分かりませんが、下の方にしか表示されません。まるで彼は、自分自身を、別の誰か、もしくは何か別モノにしているようです。彼はもはや、「キリストの司祭」そのものではありません。それは以前は、彼の肩書きの一部だったものです。私は、これらのことを注意深く観察しています。なぜなら、私にとって驚きなのは、これまでタブーとされていた非常に多くのことが、今、変わりつつありますから。それらが変化していて、本当に信じられないほどです。皆さん、私たちは快樂主義や虚無主義が、もはや実践するべきではないものとして捉えられているのを見ています。なぜなら、人々は理解しているのです。ほら、物事は数秒で消えてしまいます。さらなる快樂、さらなる楽しみを、どんどん消費する快樂主義的なライフスタイル、快樂やお金、権力が全てであるとか、そういったことに、人々は気づいたのです。人生の中で、ただ権力を持つことだけを求めて、そのために時間を浪費して、そして権力を持つと、とても退屈になります。ですから、今、人々の優先順位が変わってきています。実際、私は何かで読んだのですが、もちろん、聖書はそれについて告げています。伝道者の書6章を読めば、そのことが分かります。マタイの福音書6章を読んでも、分かります。しかし私に言えるのは、とても面白いことに、ローマ帝国にはセネカと呼ばれる、ストア学派の哲学者がいました。彼は「短命」について書いています。DeBrevitateVitae.彼は基本的に、毎日を「人生の最後の日」のように生きると言っています。言い換えれば、最大限に使いなさい、と。他のだれかになるために時間を無駄にはしてはいけない。そして、そのだれかになった時に、自分が思っていたことや期待していたこととは違くと気づくのだ。さて、もちろんこれは世俗的なものです。これをキリスト教的な言葉に訳してみましょう。今日、主が来ると思って毎日を生きてください。今日、いつ何時でも、主が私たちを連れに来られる、と考えて生きるのです。なぜなら、A)主は私たちを連れて行く約束されていますから。B)私たちの周りにある、すべてのしるしが、それがまもなくやって来る、と告げています。そして、最も重要なことは、今、人々がこの惑星、幸運、知恵、大きな力、権力のもろさを、よりよく理解していることです。そして人々は、はるかに高く、大きな力があることを理解しています。それを見た時、私たちには二つの選択肢があります。一つは、神に身をゆだね、神のために自分の人生を生き、すぐに神のみもとへ連れて行かれることです。もう一つは、それが神であることは、たぶん理解しても、神の名を冒瀆して悔い改めない。悲しいことに、教会の携挙の後、大患難の時代が始まると、黙示録16章に行くと、まさにその通りの状況が見られます。第4の鉢です。



## 太陽は人々を火で焼くことを許された。(黙示録16章12節)

すると何が起こったか。神が彼らを裁く方であり、神にはそれを止めることが出来ると知っていたのに、人々は何をしたのかというと、彼らは悔い改めず、神に栄光を与えず、神の御名を冒しました。だから、私が言いたいのは、今は大患難の時代ではありませんが、言っておきますが、大患難の始まりは、最初の段階で世界人口の25%、20億人が死ぬこととなります。そして、世界中の水が汚染され、海の生物がいなくなります。その後、地球史上、最大の大災害へと発展します。地球の歴史上、これまでに経験したことのない大災害です。そのすべてが、神の裁きです。今の状況は、言わせてもらうと、これは神の裁きではありません。これは神の恵みによって、神が私たちに与えてくださっている目覚ましコールです。そして、この目覚ましコールには、二つの選択肢があります。神に降伏するか、それとも、もちろん、大患難の終わりの人々のようになるか、です。その時、人々は神を拒絶し、神を冒します。しかし言っておきますが、今、イエスを受け入れれば、明日、イエスに会うことができるのです。今イエスを拒否すれば、明日はないかもしれません。これは、とても重要なことです。だから、皆さん全員を励ましたいと思います。今は、私たちのこの世代の生涯の歴史の中で最高の時です。私たち、あなたと私は、その世代です。あなたが今、生後1日であろうと、99歳であろうと、私たちはイスラエルが故国に戻り、イチジクの木が芽吹くのを見ているだけでなく、世界中でパンデミックが起きて、世界が麻痺しているのを見ている世代です。そして、私たち全員に再評価する機会が与えられています。人生、優先順位、そしてすべてのことを。皆さんに、ひとつ言っておきます。何があっても、神が栄光を受けるのです。だから、あなたは主のそばにいたほうがよい。なぜなら、イエスが地球に帰ってきた時、彼と顔を合わせたくはないでしょうから。主の背中を見ないといけません。主の後ろで白い馬に乗るのです。主が敵をすべて滅ぼすために来られるとき、その口から出る剣で死にたくはないでしょう。ですから、皆さんに強く勧告します。コロナウィルスの結果として、今、素晴らしい事がたくさん起こっています。これらが、私たちが握りしめるべき事です。これらは、私たちが集中しなければならぬことです。こういった事、初めて、誠実さと真実を持って復活祭や過越祭を祝い、互いに助け合い、互いに愛し合うのです。自分の権力や力、お金は、神にとって何の意味もない事を認めるのです。世界中の至る所で礼拝が行われ、喜びがある事、グローバル化は神からのものではなく、ただ崩壊しているだけである事を理解し、認めるのです。政治的な働き、経済的な動きを見て、さらにバチカンの展開でさえ、何か大きな出来事が差し迫っているのを理解し、教会は、本当にしっかりと準備しなければなりません。そして、皆さんに勧告します。皆さんにお願いします。神の御言葉から離れないでください。サタンが今、皆さんに絶対にしてほしくない事があるとすれば、それは祈ることと、神の御言葉を読むことです。この二つは、サタンがあなたにしてほしくない事です。だから、皆さんに勧めます。私たちはここで聖書の公開朗読をしますが、皆さんは、毎日必ず読み、祈らなければなりません。そして今、世界が私たちを見ている事を忘れないでください。世界は、私たちに平安があるなら平安を、私たちに喜びがあるなら喜びを、私たちに信仰があるなら信仰を見ている。世界は今、混乱しています。世界は今、恐れています。世界はこれから、不安に襲われます。そして、信者たちの最高の時は、今です。だから私は皆さんを励ましたいのです。コロナウィルスから、たくさんの良いことが起こりました。今は、最も重要な事をするための時間が、あなたの手の中にあります。御言葉を共有し、聖書を学び、御言葉を学ぶ。信仰を成長させ、互いに助け合う事で、主に仕えるのです。皆さん、言っておきますが、私たちが出発に備えて、これらの事をしているとき、御使いたちは上から見て微笑んでいますよ。だから安全に気をつけて、健康でいてください。私たちは聖書の学びをして、皆さんに御言葉を注ぎます。そしてお伝えしたい事があります。先週、私は「ハルマゲドンの際に生きる」という動画を撮りました。来週公開しますが、予告編は、すでにネットで公開されています。とても素晴らしいので、ぜひご覧ください。復活祭の教え、過越祭の教え、たくさんの聖書の学びをお届けします。ニュースレターを受信してください。私たちのウェブサイトbeholdIsrael.orgで、ご登録いただけます。そして、FacebookとYouTube、ツイッター、インスタで私たちをフォローしてください。BeholdIsraelです。ということで、最後はアロンの祝福で締めくくりたいと思います。強くあれ、健康であれ。心を尽くし、力を尽くし、たましいを尽くして、主に仕えましょう。

父なる神様、コロナウィルスの危機から生まれた、偉大な出来事に感謝します。そして今、私たちは手を伸ばし、あなたのしもべアロン、イスラエルの子らを通して、あなたが祝福して下さった祝福を受け取りたいと思います。

主があなたを祝福し、あなたを守られますように。  
主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。  
主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。  
(民数記6章24節から26節/ヘブル語)

主があなたを祝福し、あなたを守られますように。  
主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。  
主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。  
(民数記6章24節から26節/英語)

そのシャローム、すべての理解を超えた平和は、平和の主である平和の君だけが、今も永遠に、ここでも、どこでも与えてくださいます。このウィルスに感染しているすべての国で、ひとりひとりの信者は、全世界に放つことのできる平和と喜びの力を持っています。すべての理解を超えたその平和を感謝します。その喜び、救いの喜びに感謝します。そして強い信仰と、義人が椰子の木のようであり、レバノンの杉のようであることを感謝します。あなたに感謝し、あなたを祝福します。  
イエスの御名においてお祈りします。  
アーメン。

皆さんありがとうございます。Iloveyou!  
ガリラヤより、God bless you!  
また、多くの聖書の教えと、熟考し、勉強するための多くの材料を皆さんに浴びせていきます。  
皆さん、ありがとうございます。安全と神の御守りがありますように。  
さようなら。



メッセージbyAmirTsarfati/BeholdIsrael:<http://beholdisrael.org/>

ビホールドイスラエル日本語YouTubeチャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UCLcuvC6Mr63AqwiiXDkwRVQ>

2020.04.23(Thu)